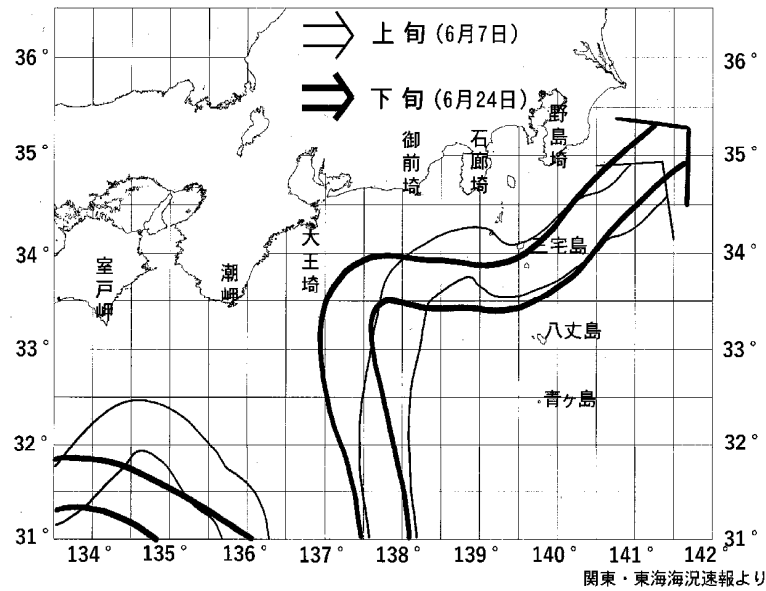


漁海況月報

令和4年6月1日

No. 6 ~6月30日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



6月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	20.9	20.9	20.7	21.1	21.7	21.2
	0.8	0.9	0.9	0.7	0.8	0.4
中旬	21.1	21.0	21.0	21.8	21.8	21.3
	0.3	0.5	0.7	0.6	0.2	-0.1
下旬	22.0	20.2	20.6	22.8	24.2	22.7
	0.5	-0.7	0.1	1.0	1.9	0.7
月	21.3	20.7	20.7	21.9	22.6	21.7
	0.5	0.2	0.5	0.8	1.0	0.3

*平年値：1990-2021年の31年平均値

【黒潮流路】

6月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、上旬は遠州灘沖～石廊崎沖まで、中旬は遠州灘沖～駿河湾沖まで、下旬は遠州灘沖まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖30.0°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖～石廊崎沖34.0°Nまで北上した。その後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。御前崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘沖に向けて暖水波及が見られた。

中旬は潮岬沖30.5°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖～石廊崎沖34.0°Nまで北上した。その後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。一時的に御前崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘沖に向けて、石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて暖水波及が見られた。

下旬は潮岬沖30.5°N付近まで大きく離岸し、遠州灘沖33.5°Nまで北上した。その後東進し、三宅島～八丈島間を通過して北東に流去した。一時的に石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて暖水

波及が見られた。

【沿岸域水温】

上旬は焼津で「平年並」、それ以外の地点で「やや高め」であった。中旬は伊東、沼津、焼津で「平年並」、稲取、下田、雲見で「やや高め」であった。下旬は稲取で「やや低め」、下田で「平年並」、伊東、雲見、焼津で「やや高め」、沼津で「高め」であった。

【竿釣カツオ】

6月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは181.2トンで前年同月(247.6トン)の73%であった。平均単価は392円/kgで前年同月(169円/kg)を上回った。

漁場は33-34°N、138-140°Eの伊豆諸島周辺海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は大(尾叉長61cm)を主体に、小(尾叉長47cm)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R4年6月上旬	82.0	15	5.5	337
中旬	66.7	17	3.9	393
下旬	32.5	12	2.7	526
R4年6月計	181.2	44	4.1	392
R3年6月計	247.6	61	4.1	169
R2年6月計	114.9	48	2.4	444

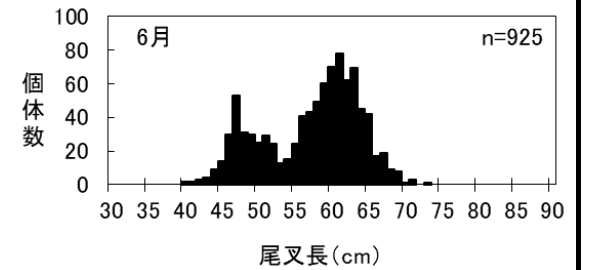


図 御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は159.4トンで、前年(158.1トン)とほぼ同じで、平年(394.9トン)の40%であった。また、1か統あたりの水揚量は22.8トン(前年:22.6トン、平年:56.4トン)であった。水揚量の多い漁場は、赤沢漁場(30.4トン、ブリ、さば類、シイラ)、次いで伊豆山漁場(27.7トン、さば類、ブリ、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁の表のとおりで、さば類は51.2トンで、前年比63%、平年比51%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは5.0トンで、前年比47%、平年比29%、ゴマサバは46.2トンで、前年比66%、平年比50%であった。ブリは39.4トンで、前年比3.2倍、平年比2.1倍。銘柄わらさが主体(39.0トン)で、わらさの水揚は6月としては過去10年(2013年以降)で最も多かった。マアジは21.0トンで、前年比1.8倍、平年比31%であった。シイラは13.6トンで、前年比1.3倍、平年比68%であった。アカカマスは7.7トンで、前年比3.6倍、平年比2.6倍で、6月としては過去10年(2013年以降)で最も多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁の表のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では北川漁場が25%(13.0トン)、富戸漁場が16%(8.3トン)、伊豆山漁場が15%(7.5トン)、ブリでは赤沢漁場が45%(17.6トン)、川奈漁場が23%(8.9トン)、伊豆山漁場が16%(6.2トン)、マアジでは川奈漁場が29%(6.1トン)、伊豆山漁場が24%(5.1トン)、古網漁場が22%(4.6トン)、シイラでは北川漁場が35%(4.7トン)、谷津漁場が24%(3.2トン)、古網漁場が18%(2.5トン)、アカカマスでは伊豆山漁場が39%(3.0トン)、古網漁場が38%(3.0トン)、北川漁場が16%(1.3トン)を占めた。

*平年：昭和57年～令和3年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	51.2	0.63	0.51	北川、富戸、伊豆山
ブリ	39.4	3.20	2.12	赤沢、川奈、伊豆山
マアジ	21.0	1.77	0.31	川奈、伊豆山、古網
シイラ	13.6	1.29	0.68	北川、谷津、古網
アカカマス	7.7	3.64	2.63	伊豆山、古網、北川

[サバたもすくい網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい主体で操業し、漁場は上旬から中旬は利島に、下旬は大島千波に形成された。水揚量はマサバ9トン(前年同月4%)、ゴマサバ247トン(前年同月比2.5倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ0.4トン(前年同月比4%)、ゴマサバ12.3トン(前年同月比3.4倍)であった。

平均単価は、マサバ(191円/kg)は前月(165円/kg)、前年同月(124円/kg)を共に大きく上回った。ゴマサバ(117円/kg)は前月(164円/kg)を大きく下回り、前年同月(115円/kg)並であった。

水揚物の体長組成は、マサバは36cmにモードを持つ単峰形、ゴマサバは27cmと30cmにモードを持つ2峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R4年6月上旬	9	164	7	12	0.8	13.7	191	113	利島
中旬	0	41	2	4	0.0	10.1	378	123	利島
下旬	-	42	2	4	-	10.4	-	128	大島千波
R4年6月計	9	247	11	20	0.8	12.3	191	117	利島、大島千波
R3年6月計	235	100	11	27	8.7	3.7	124	115	利島北部
R2年6月計	0	155	7	18	0	8.6	271	138	大室出し、ひょうたん瀬、利島

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

6月の出漁日数は3日、水揚量は24.8トンであった(前年同月の出漁日数は1日、水揚量は10.2トン)。主漁場は富士川沖～興津川沖であった。水揚げされたサクラエビの体長組成は35mm付近にモードがある分布を示した。

なお、今春漁は6月8日夜の操業で終漁し、総水揚量は202.0トン、出漁日数は23日であった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R4年6月計	24.8	3	富士川沖～興津川沖
R3年6月計	10.2	1	由比沖
R2年6月計	0.9	1	相良沖
R1年6月計	-	-	出漁なし

[シラス船曳網]

県内主要6港における1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が281kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が389kgであった。平均水揚量は347kgと前年同月(240kg)の1.4倍、平年同月(過去5か年平均:330kg)の1.1倍であった。また、総水揚量は565.7トンで前年同月(486.1トン)の1.2倍、平年同期(562.1トン)の1.0倍と、前年同月を上回り、平年同月並であった。平均単価は641円/kgと、前年同月(797円/kg)の80.4%、平年同月(885円/kg)の72.4%と、前年同月、平年同月を下回った。

主要6港のシラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	43.4	12	111	391	532
	舞阪	204.0	13	485	421	628
	福田	99.4	13	298	333	603
	御前崎	40.3	11	100	403	664
駿河湾	吉田	118.1	14	363	325	659
	静岡	60.5	15	272	222	777
R4年6月計	565.7	78	1,629	347	641	
R3年6月計	486.1	95	2,025	240	797	
R2年6月計	1,152.6	101	2,425	475	870	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では38.1トン(前年同月比9.1%、平年同月比9.0%)、小川港では0.4トン(前年同月比0.4%、平年同月比0.5%)、伊東港では58.6トン(前年同月水揚げなし、平年同月比2.5倍)、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、沼津港では24.8トン(前年同月比27.8%、平年同月比41.5%)、小川港では2.3トン(前年同月比22.1%、平年同月比15.1%)伊東港、静浦港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.04トン、カタクチイワシは7.6トンであった。

*平年:過去5か年(平成29～令和3年)平均値

[調査船駿河丸の動向]

6月 1日	～	6月 3日	地先定線観測	(3日間)
6月 4日	～	6月 4日	駿河丸一般公開	(1日間)
6月 8日	～	6月 8日	MaOI マイクロプラスチック調査	(1日間)
6月 8日	～	6月 9日	キンメダイ食害調査	(2日間)
6月 15日	～	6月 17日	カツオ魚群分布調査	(3日間)
6月 22日	～	6月 22日	調査用MOHT・VHMPS ネット取扱い習熟航海	(1日間)
6月 27日	～	6月 27日	調査用ボンゴネット取扱い習熟航海	(1日間)
6月 28日	～	6月 29日	サクラエビ卵幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

